

令和7年度愛媛県教育文化賞受賞者について

[愛媛県教育文化賞とは]

愛媛県教育文化賞は、教育、科学、芸術等について、本県文化の向上発展に、特に功績著しい個人又は団体について顕彰するものです。昭和27年以来、本年度を含めたこれまでの受賞者は、個人207名及び団体2団体となっています。

令和7年度愛媛県教育文化賞の表彰式が、令和7年11月3日文化の日に愛媛県庁正庁で行われ、本県の教育文化の向上発展に、特に功績著しい次の3名が受賞されました。

ふりがな 氏 名 (在住市町) 年齢	功績概要	主要経歴
かねこ きみこ 金子 公子 (松山市) 85歳	(体育振興) 昭和36年に公立中学校教諭に奉職されて以来、豊かな人間性と卓越した実践力をもって、生徒の体育指導と健康教育の充実に努める傍ら、スケート競技の普及と人材育成に尽力されました。 特に、平成12年からは、愛媛県スケート連盟において、理事長、会長を歴任され、組織の中核として連盟の充実・強化を推進し、ジュニア選手の育成及び指導者の養成に力を尽くすなど、本県におけるスケートの普及・発展の礎を築かれた功績は高く評価されています。 さらに、平成18年以降は、愛媛県体育協会理事、愛媛県スポーツ協会評議員を務め、スポーツ少年団の大会や国民体育大会予選の運営に携わるなど、本県の地域スポーツの振興・発展に多大な貢献をされました。	(元) 公立中学校教頭 (元) 愛媛県スケート連盟理事長 (元) 愛媛県スケート連盟会長 (現) 愛媛県カーリング協会会長 (元) 愛媛県体育協会理事 (元) 愛媛県スポーツ協会評議員
みやうち まさたみ 宮内 正民 (松山市) 83歳	(社会教育) 昭和40年に公立中学校教諭に奉職され、卓越した見識と確固たる教育的信念をもって教育の道に邁進される傍ら、長きにわたりボーイスカウト運動に携わり、青少年の健全育成に力を注がれました。 特に、昭和54年の松山第28団ボーイスカウト隊の発団や、平成18年の松山市青少年育成市民会議の設立に尽力された功績は高く評価されています。 さらに、平成26年からは、日本ボーイスカウト愛媛県連盟において、副連盟長、連盟長を歴任され、様々な事業の展開や、各団への適切な指導・助言を行うなど、県内におけるボーイスカウト運動の普及・発展、ひいては青少年の健全育成に多大な貢献をされました。	(元) 公立中学校長 (元) 日本ボーイスカウト愛媛県連盟理事長 (元) 日本ボーイスカウト愛媛県連盟副連盟長 (元) 日本ボーイスカウト愛媛県連盟連盟長 (現) 日本ボーイスカウト愛媛県連盟先達
たけもと こうぞう 竹本 公三 (今治市) 71歳	(学校教育・教育行政) 昭和55年、公立高等学校教諭に奉職されて以来、卓越した教育的見識を発揮し、学校教育の充実に尽力されました。 平成20年からは、愛媛県教育委員会事務局高校教育課長や指導部長として、円滑に教育行政を推進されたほか、愛媛県立新居浜南高等学校長、愛媛県立松山西中等教育学校長として学校経営の任に当たられました。平成26年には愛媛県高等学校長協会会長を務められ、県下の高等学校教育の充実・発展に寄与された功績は高く評価されています。 さらに、平成30年以降は、愛媛県教育委員会委員として、長年の経験と豊富な知識を活かし、県内の学校教育の向上・発展に多大な貢献をされました。	(元) 愛媛県教育委員会事務局高校教育課長 (元) 愛媛県教育委員会事務局指導部長 (元) 公立高等学校長 (元) 公立中等教育学校長 (元) 愛媛県高等学校長協会会長 (元) 愛媛県教育委員会委員 (現) 愛媛県私立学校審議会会長